

第九十回帝國議會 林業會法案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案

林業會法案(政府提出)

昭和二十一年八月二十三日(金曜日)午前十時二十九分開議

出席委員

委員長 森 幸太郎君

理事 水口 周平君 理事 綿貫 佐民君

理事 平野 增吉君 理事 氏原 一郎君

理事 稻田 直道君 大井直之助君

理事 木島 義夫君 小柳富太郎君

理事 小笹 耕作君 太田秋之助君

理事 仲川房次郎君 本名 武君

理事 武藤 常介君 永井勝次郎君

理事 林 虎雄君 松澤 一君

理事 井出一太郎君 伊藤 實雄君

八月二十二日委員米倉龍也君辭任ニ付其ノ補闕トシテ飯田義茂君ヲ議長ニ於テ選定シテ

出席國務大臣

農林大臣 和田 博雄君

出席政府委員

農林參與官 鈴木 強平君

農林技官 中尾 勇君

農林事務官 平川 守君

本日ノ會議ニ付シテ議案 林業會法案(政府提出)

○森委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、質問ヲ繼續致シマス 平野

增吉君

○平野(增)委員 前回ノ質問ノ繼

續ニナツテ居リマス第六十七條ノ

第一項ノ第二號ノ問題カラ關聯致

シマシテ、私ノ疑問トスル點ハ、

林產組合ガ都道府縣ヲ區域トスル

モノト、ソレカラ府縣ノ或ル地區

ヲ區域トスルモノト、二ツ出來ル

ト云フ風ニ見エテ居ル、サウスル

ト其ノ區域ニ出來ルモノハ、假ニ

何々郡トカ、何々地方トカ云フヤ

ウナ名前ヲ頭ニ付ケテ、サウシテ

例ヘバ麴町林產組合、ソレカラ都

道府縣ヲ區域トスルモノハ東京都

林產組合、斯ウ云フ風ニナルノデ

スカ、此ノ點ヲ御尋ネ致シマス

○平川政府委員 サウ云フ風ニナ

リマス

○平野(增)委員 サウ致シマスル

ト、其ノ小サナ區域ノ 林產組合

ト、又都道府縣ノ區域ヲ區域トス

ル大キナ林產組合ト云フモノトノ

關係ハ、ドウ云フ風ニナリマス

カ、詰リ同ジ林產組合デ、小サナ

各地區ノ組合ガ集マツテ都道府縣

ノ林產組合ト云フモノヲ結成ス

ル、所謂聯合會ノヤウナ性質ヲ持

ツノデアルカ、サウデナイカ、此

ノ法案デハ其ノ點ガハツキリシテ

居ナイ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○平川政府委員 此ノ法文ノ文理

解釋ト致シマシテハ、都道府縣ヲ

單位ト致シマス林產組合ハ、其ノ

府縣内ノ地區ヲ單位トスル、地區

別ノ林產組合ノ聯合會體トシテ出

來ル場合モアリマスシ、其ノ他直

接ニ縣單位デ出來ル場合モアルノ

デアリマス、唯實際ノ問題ト致シ

マシテハ、恐ラク全國各地方ノ府

縣ニ於キマシテモ、實際ノ便宜上

カラ致シマシテ、各單位地區ノ林

產組合ヲ作ツタ上ニ、聯合會ヲ作

ルト云フコトガ大部分デアラウト

思フノデアリマス

○平野(增)委員 政府委員ハ大部

分サウ云フ風ニナルグラウト云フ

御見込ヲ御話ニナリマシタガ、是

ハサウ云フ見込ト云フヨリモ、寧

ロ實際問題トシテハ、各地區ニ林

產組合ガ出來テ、ソレガ繼ツタ上

ニ聯合會體ノモノガ出來ルト云フ

コトデナイト、運営ガ旨ク行カス

ト云フコトガ實際ダト信ジマス、

是ハ今日マデ各業界ノ經驗上明カ

デアリマス、恐ラク各委員ノ方モ

此ノ點ニ付テハ同感デアラウト自

分ハ信ズル、隨テ政府ノ御見込モ

亦大部分サウナルグラウト云フコ

トデアラナラバ、寧ロ初メカラ、

府縣一本ニサウ云フモノガ出來ル

カモ知レヌシ、又サウ云フヤウナ

聯合會ノ様ナ風ニナルカモ知レヌ

ト云フヤウナ曖昧ナコトデナシ

ニ、ヤツバリ聯合會ヲ作ルノダト

云フ風ノ組織デハツキリ行ツタ方

ガ、迷ヒガナク、又全國統一サレ

テ非常ニ都合ガ宜イノデハナイ

カ、斯様ニ信ズルノデアリマス、

デアリマスカラ、此ノ點ハ是非サ

ウ云フ風ニ條文ヲ明カニシテ戴キ

タイト云フ希望ヲ持ツテ居リマ

ス、之ニ對シテ御意見ヲ伺ヒタイ

○平川政府委員 各地方々々ノ實

情ニ應ジマシテ、其ノ地方ノ林產

業者ノ最モ適當ト思ハレル形ニ作

ラセルノガ宜イノデハナイカト云

フ趣旨カラ、廣汎ニ自由ノ利クヤ

ウニ作ツデアル譯デアリマス、尙

ホ特ニ林產組合ノ中ニハ、例ヘバ

一般用材ヲ對象ト致シマス林產組

合、其ノ他ニ坑木ダケヲ扱ヒマス

林產組合、或ハ「バル」材ダケヲ

扱フ林產組合ト云フヤウナ、特殊

ノモノモアル譯デアリマス、是等

ノモノガ假ニ單一ノ組合ヲ縣單位

ニ作リマス場合ニ於キマシテハ、

地區別ノ單位組合ノ聯合會ト云フ

形デナシニ、直接ニ何々縣ノ「バ

ル」材組合、或ハ坑木組合ト云

フモノガ出來ル可能性ガアルダラ

ウト思フノデアリマス、サウ云フ

ヤウナ廣イ色々ナ種類ノ組合ヲ考

ヘマスト、法文ト致シマシテハ、

ヤハリ廣ク書イテ置キマシテ、實

際ノ運用ニ於キマシテハ各府縣ノ

業者ノ實情ニ應ジマシテ多クノ場

合ニ於キマシテハ行フ、斯ウ云フ

コトノ方ガ宜シカラウト思フノデ

アリマス

○平野(增)委員 實際ノ問題トシ

テ、今御話シノヤウナコトモアリ

得ルノデアリマスガ、更ニ實情ニ

付テ之ヲ考ヘルト、ドウシテモ都

道府縣ノ林產組合ト云フモノハ聯

合會ダト云フヤウナコトガハツキ

リシテ居ナイト、地區別ニ出來タ

組合ヲ繼メテ統制シテ行クコトガ

出來ナイト思ヒマス、法文ノ上デ

各皆獨立シテ居ルモノダ、斯ウ云

フ形ニハ見エテ居ル、何處ヲ見

マシテモ、地區別ニ出來タモノヲ

縣單位ノ林產組合ガ押ヘテ行クト

云フコトガ何處ニモナイ、デスカ

ラヤハリ離レテシマフ、離レテシ

マフト云フノナラ結局——丁度岐

阜縣ノ場合ヲ茲デ考ヘマスト、二

十八地區ノ木材生産ノ組合ガ出來

テ居リマス、ソレカラ單板トカ、

坑木トカ、電柱トカ云フ縣下一本

ノ組合ガ二ツ出來テ居ル、合セテ

三十幾ツカ出來テ、聯合會ガ出來

テ、之ヲ聯合會デ統制シテ居ル、

所ガ此ノ趣旨デ行キマスト、假ニ

二十八ノ組合ガ出來テ、岐阜縣ノ

組合ト云フモノト聯合會ト云フモ

ノトハ、聯合會ト云フ名前前デハナ

ク、即チ岐阜縣ノ林產組合ト云フ

モノニ今ノ聯合會ガナツタト致シ

マスト、法文ノ上デハ別々ノモノ

ニナル、詰リソレヲ繼メタ一ツノ

聯合會デアルト云フ風ニハ見ラレ
ナイノデアリマス、岐阜縣林産組
合、ソレカラ何々郡林産組合、其
ノ何々郡林産組合ト云フモノ、
幾ツカノモノヲ纏メタ縣ノ林産組
合ト云フモノトノ關係ガ、此ノ法
文ニハ明カニナツテ居ナイ、ヤハ
リ聯合會ト云フ性質ノモノニシタ
方ガ是ハ宜イ、是ハ私ガ漏レ聞ク
所ニ依ルト、最初二ツ御作りニナ
ツタ當時ニハ聯合會組織ガアツ
タル爲ニ、十二箇條トカ條文ガ長ク
ナルト云フノデ、ソレヲ省イテシ
マツテ、之ヲ無理ニ斯ウ云フヤウ
ナモノニ御作りニナツタト云フ話
ヲ漏レ聞イテ居ル、其ノ眞實ハ知
ラナイ、併シヤハリ假ニ何箇條カ
サウ云フ條文ガ要ルカラ知レマセ
ヌガ、ソレヲハツキリシテ置クト
間違ヒガナク、迷ヒガナク、旨ク
行ク、斯ウ考ヘルノデアリマス、
デアリマスカラ、ヤハリ是ハドウ
シテモ府縣ノ聯合會ト云フモノヲ
此ノ間、前回ノ委員會ノ際ニ
政府委員カラハ、森林組合ハ各村
村ガ單位ニナツテ居ルカラ聯合會
ガ旨ク行ケレドモ、是ハ郡ガ二
ツ一緒ニナツタリ、或ハ流域別ニ
ナツタリ、色々ナ關係ニナリマス
カラ、聯合會ガ旨ク行カヌト云フ
意味ノ御説明ガアツタガ、是ハ何
カノ誤解ダト思ヒマス、私ハ各郡
デ一ツノ林産組合ガ出來ヤウト、
二郡三郡ヲ纏メタ組合ガ出來ヤウ

トモ、或ハ一郡ガ二ツニ別レテ流
域別デ一ツノ組合ガ出來テモ、其
ノ組合ガ纏マツタモノガ聯合會デ
アツテ、ソレハ其ノ地方ノ事情事
情デ出來ル、寧ろ行政區域ト云フ
ヤウナモノニ拘泥ラナイデ、業界
ノ實情ニ依ツテ組合ガ出來ルコト
ガ宜シイ、又必ズサウナリマス、
デアリマスカラ、サウ、サウ云フ
コトハ聯合會ヲ作ル場合ニ、行政
區劃ト云フヤウナコトニ拘泥シナ
イデモ、是ハ完全ニ行クモノデア
ル、デアリマスカラ、サウ云フ此
ノ間ノ御説明ハ理由ニナラナイ、
此ノ點ハドウシテモ、各區域ノ林
産組合ガ纏マツテ、都道府縣單位
ノ林産組合聯合會ヲ作ル、斯ウ云
フ風ニヤツテ戴キタイ、サウシテ
其ノ林産組合ノ聯合會ト森林組合
ノ聯合會トカ、茲ニ一緒ニナツテ
縣府ノ林業會ヲ作ル、斯ウ云フナ
ラバ筋道ガチヤント立ツテ統制ガ
執レル、之ヲ此ノ儘デ行クト、ド
ウシテモソレガ實情ニ副ハナイ、
實情ニ副ハナイト云フコトハ、即
チ運営ニ付色々疑問ガ起リ、
面倒ガ起ル、サウ云フヤウナコト
ニナリマスカラ、是ハアツサリト
サウ云フヤウニスルコトデ御考慮
ヲ願ヒタイ、之ニ對シテ御意見ヲ
伺ヒタイト思ヒマス

シテ、第七十一條ノ林産組合ノ組
合員タルモノト云フ所ニ、ハツキ
リト「林産業を営む者又はその團
體」ト云フモノヲ構成員ニ考ヘテ
居ル譯デアリマシテ、御話ノヤウ
ナ點ハ、是デ十分満足得ル譯デア
リマス、ソレカラ尙ホ林産組合ト
云フ抽象的ナ名前ヲ使ツテ居リマ
スケレドモ、第六十九條ノ名稱ニ
關スル規定ニアリマスヤウニ、林
産組合ト云フ文字ガ其ノ組合ノ名
稱ノ中ニ含まレテ居レバ宜イ譯デ
アリマス、例ヘバ縣單位ノ林産組
合ニ於キマシテ、御話ノヤウニ林
産組合ノ聯合會ヲ作ツテ居ル場合
ニ於テ、何々縣林産組合聯合會ト
云フ名前ヲ使ツテ、向差支ヘナイ
譯デアリマス、デアリマスカラ、
府縣ノ業者間ニ於テ意見ガ一致
シマシテ、御話ノヤウナ各地區組
合ガ集マツテ、府縣ノ林産組合聯
合會ヲ作ラウト云フコトニナレバ
サウ云フ名前ヲ使ヒマシテ、現在
ノ組合ヲ其ノ儘組合員トシテ、府
縣ノ林産組合聯合會ト云フコトニ
致スコトガ出來ル譯デアリマス、
ソレヲ林産組合聯合會ト云フ風ナ
キチントシタ形ニ、劃一的ニ法文
上決メルコトハ、先程申シマスル
ヤウニ、特殊ノ用材ニ付キマシテ
ハ、却ツテ直接ノ縣單位ヲ必要ト
スルヤウナ場合モアル譯デアリマ
シテ、餘リニモ拘束的ニ書クヨリ
モ、其ノ方ガ宜ク、而モ運用デ少
思シモ差支ヘナイノデハナイイカト

ヒマス
○平野(增)委員 然ラバ斯ウ云フ
風ニ承知シテ宜イデスカ、聯合會
ト云フ文字ハ何處ヲ見テモナイ
ガ、都道府縣ノ林産組合ト云フモ
ノハ、各地域ノ組合ニ林産組合聯
合會ト云フ名前ヲ付シテヤツテ宜
シイ、斯ウ云フコトニ承知シテ宜
イデスカ
○平川政府委員 ソレデ宜シウゴ
ザイマス
○平野(增)委員 分リマシタ、ソ
コデ斯ウ云フ點ハドウナルカ同ハ
ナケレバナラナイノデスカ、第六
十七條ノ第一項第二號「組合員
ノ生産し、又は販賣する林産物の
加工、運搬、保管又は販賣」是ハ
「林産組合は、その目的を達する
ために、左の事業を行ふことがで
きる。」ト云フコトニナツテ居ルノ
デアリマシテ、此ノ下部組織ノ地
域別ノ組合ニ對シテ、此ノ第二號
ハ適當ダト考ヘマスルガ、今ノ聯
合會ト名前ヲ府縣ノ聯合會ニハ、
第二號デ謂フ買取、販賣、保管、
運搬、加工ト云フコトハ許シテイ
カスト考ヘルノデスカ、此ノ點ニ
於キマスル御見解ハドウデスカ、
是ハ聯合會ニ認メテ居ラレルノ
カ、地區別ノ林産組合ダケニ御認
メニナツテ居ルノカ、其ノ點ヲ御
尋ネシマス
○平川政府委員 此ノ第六十七條
ノ規定ハ、單ニ地區別ノ林産組合
ダケデナシ、其ノ聯合會ニモ一

般的ニ適用ガアル譯デアリマス、
唯此ノ第二號ニ付キマシテハ、組
合員ノ生産シタ、或ハ又販賣スル
林産物ノ加工、運搬等デアリマ
スカラ、假リニ今ノ聯合會ニ於キ
マシテ、其ノ組合員デアル地區別
ノ組合ト云フモノガ自ら生産シ、
或ハ自ら販賣スルコト云フコトデ
ナケレバ必要ガナイ譯デアリマ
ス、ソレデ、一般的ニハ聯合會ニ
於キマシテモ、恐ラクハ此ノ事業
モ出來ルコトニナルガラウト思ヒ
マスケレドモ、併シ現實ノ問題ト
致シマシテハ、御話ノ通り生産、
販賣ノ共同事業ヲ致シマスルモノ
ハ大部分ハ地區單位デアリマス、
府縣單位ハ例外的ニ之ヲ特殊ノモ
ノニ付テ行フ、之モ豫想サレルト
云フ程度ニ考ヘテ戴キタイト思ヒ
マス
○平野(增)委員 戰時中過去數年
間ノ經驗カラ見マシテ、府縣ヲ纏
メタル所ノ聯合會ノ性質ノモノガ
買取、販賣並ニ加工トカ運搬トカ
保管トカ云フヤウナ廣イ範圍ノコ
トヲ許スト云フコトニナリマス
ト、ヤハリ元ノ地木ト同ジヤウナ
モノガ出來テ來ル、其ノ廣ハ十分
ニアル、我々ノ信ズル所デハ、地
木ガ解散ラサレテ、新シイ林業會
法ヲ政府ガ御作りニナル、此ノ考
ヘノ根本ハ、從來ノ失敗ニ鑑ミテ
過去ノ弊害ヲ再ビ繰返サナイヤウ
ニスルト云フノガ原則デアル、斯
様ニ信ジマス、其ノ點カラ見テ、

サウ云フヤウナ懸念ノアルコトハ、此ノ際之ヲ禁止シタ方ガ宜イと思フ、サウシテ成ベク個人ノ創意ト、個人ノ工夫ヲ活カシテ、木材ノ増産ニ邁進セシメル、所謂増産意欲ノ昂進ヲ圖ルト云フコトニ重點ヲ置カナケレバナラス、其ノ點カラ申シマスレバ、ドウシテモ個人ノ創意ヲ活カシ、個人ノ活動ヲ十分ニ自由ナラシメル、此ノ原則ニ於テ行カナクテハナラス、其ノ點カラ見テ、地區別ノ組合マデハ實際上ニ於テ必要ガアリマス、是モ地區別ニ組合ダケニ仕事ヲスルノダト云フコトニナツタラ個人ガ死ンデシマフケレドモ、各郡ナドノ小サイ組合ノ中ニハ、ヤハリ其ノ組合ガ仕事ヲシテ宜イト云フ途ヲ開イテ置カナイト、ヤレナイコトガ出来テ参リマスカラ、是ハ結構デアリマスガ、縣ノ聯合會ト云フ性質ノモノニナリマシタラ、全然サウ云フコトニ手ヲ出シテハイカヌ、是ハ林業ノ指導獎勵ト、必要ナル物資ノ供給、資金ノ斡旋、斯ウ云フヤウナコトヤ、林産物ノ加工、運搬、保管ナドニ關スル斡旋ヲスルト云フ程度ニ止メテ置キタイ、是ガ直接ノ買取、販賣ヲ許スト云フコトデアレバ、是ハイカヌ、過日日本會議カ豫算總會ノ席上デ、何レノ政黨ノ方カノ御質問ニ對シテ、大臣ハ今後ノ買取、販賣ハ決シテヤラスト明答シテ居ラレル、恐ラク我々モ左様ニ信ジ

テ居ツタノデアリマスガ、今質問ヲズツト續ケテ見マス、此ノ府縣聯合會ト云フモノガヤハリ林産組合ト云フコトニナル、下部組織ノ林産組合マデハ宜シイ、ソレ以上ノ府縣ノ單位トスル所ノ大キナ林産組合ト云フモノガ買取、販賣ヲヤル、若シ其ノ組合長トカ、組合ノ幹部ガ非常ニ仕事好キノ人デアリ、商賣好キノ人デアツタナラバ、殊ニ其ノ組合ハ出資組合タルコトヲ許サレテ居ルカラ、資本ヲドン／＼拵ヘテ、生産ノ裏付ケデ銀行カラ金ヲ借りテ、仕事ヲ擴大シテ來ル、斯ウ云フコトニナルト再ビ地木ト同ジヤウナコトニナル、地木ガドウ云フモノデアツタカ、地木ガ如何ニ各方面カラ非難ヲサレタカト云フコトハ論ズルマデモナイノデスガ、私ハ此ノ點ニ付テハ是非「保管又は販賣」ノ所ニ「斡旋」ト云フ文字ヲ使フ、サウシテ斡旋ト云フ程度ニ止メテ欲シイ、サウデナイト必ズ弊害ガ起ルト云フコトヲ私ハ確信シテ居リマス、之ニ對シテドウ御考ヘニナリマス

○平川府政委員 只今ノ一般木材ノ統制、徑路ノ實情ト云フモノニ即應シテ、之ニ付テ考ヘマス、平野委員ノ仰シヤウナ地方モ相當アルカト思フノデアリマス、唯一般のニ、此ノ林産組合ト云フ組合ノ組織トシテ考ヘマスル場合ニ、縣單位ノ組合デ以テ、組合員ノ生産或ハ販賣スル林産物ノ共同加工デアリマス、或ハ共同デ保管ヲスルトカ、或ハ場合ニ依リマシテハ一部ヲ共同デ販賣スルコト云フヤウナコトガ必要デアリ、又組合員ノ爲ニナルト云フ場合モアラウカト思フノデアリマス、ソレヲ全然出來ナイヤウニ法律デ規定ヲ致シテ置クト云フコトハ、却テ組合員ノ利益ニナラナイデハナイカ、但シ組合員多數ノ意向ガサウ云フコトヲヤルコトハ不適當ダ、斯ウ云フ場合ニ、縣單位ノ林産組合ト雖モ無理ニソレヲ押付ケルコトハ出來ナイノデアリマシテ、林産組合自身ハ地木社ト異ナリマシテ、組合員ノ組織ト云フモノガ常ニ反映シ得ルヤウナ組織ニナツテ居ルノデアリマス、組合長ハサウ云フコトガ非常ニ好キデアリマシテモ、組合員ノ意向ガソレニ反映スレバハ出來ナイコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、ソコハ、從來ノ地木社トハ本質のニ異ナルコトニナリマス、組合員ガ賛成ノ致シ皆ガソレヲ希望スルト云フコトデアリマスレバ、縣單位ノ組合ト雖モ、時トシテ一部ノモノニ付テ共同ノ加工、運搬、販賣等マデ出來ルト云フヤウニ致シテ置クノガ、從來ノ組合ノ一般ノ形デアリマスルシ、又ソレガ適當デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○平野(增)委員 只今ノ府政委員ノ御説明ニ依ルト、何處カニ組合員ノ意向ニ依ツテソレガ決メラレルノダト云フヤウナ組合員ガソレヲ好マナイ場合ハヤレナイト云フヤウナ御趣旨ニ承リマシタガ、ドノ條文ニサウ云フコトガゴザイマス

○平川府政委員 是ハ極端ナ場合ニ於キマシテハ、第一役員ト云フモノガ總會ノ選任デアリ、役員ノヤツテ居ル仕事ガ不適當ダト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、役員ノ解任ト云フ方法モ總會ノ總意ニ依ツテアリ得ル譯デアリマス、又經費ノ負擔デアリマスルコトカ、其ノ事業ノ計畫ニ付キマシテ總會ノ議決ヲ經ル譯デアリマス、サウ云フ色々ノ機會ニ於キマシテ、組合員ノ意向ト云フモノガ、此ノ組合ノ事業ノ運営、ヤリ方ニ付テ反映スル機會ガ十分ニアル譯デアリマス

○平野(增)委員 府政委員ノ御答辯ハ非常ニコジツケデ、私ガ聽イテ居ルト無理ガアルノデス、此ノ條文ノ中ニ、組合員多數ノ意思ガサウ云フコトニシテハイケナイト云フコトヲ決メレバ、ソレガ出來ナイトカ、或ハ多數ノ意思ニ依ツテ之ヲヤルノダト云フ規定ガドコニアルノナラバ、只今ノ御説明ガ積極のニ效力ガアルノデアリマスケレドモ、サウ云フ規定ハナイ、サウシテ六十七條ニ於テ、明カニ之ヲヤツテモ宜シイト云フコトガ法律上許サレテ居ル、サウスルト、之ヲ組合長ナリガ多數ノ意思ニ反シテデモヤル場合ニ、多數ノ者ガドウシテ之ヲ止メルコトガ出來ルカ、結局今仰セノ通り、ドウモ俺等ハ氣ニ入ラスカラ、アノ組合長ヲ解任シヨウデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ行動ニ出ナケレバナラスコトニナル、サウスルト絶エズ組合ガゴテツクコトニナル、サウ云フコトヲ豫メハツキリト防グヤウニ決メテ置クコトガ、今日法律ヲ作ル場合ニ、我々ガ審議ニ當ツテ十分研究シテ、意ヲ盡シテ置クコトガ必要ナンデアリマス、是ハ林業會法案ノ中ニ於テ今後ノ運用上非常ニ重要ナ點デアリマス、又一般業界ノ人達ノ懸念スル點モ此ノ點ニアル、此ノ儘行ケバ再ビ日本、地木ノヤウナモノガ、ソレト同ジモノデハナイガ、非常ニ似タモノガ生レテ來ル處ガアル、斯ウ云フ風ナ非難ヲ相當シテ居リマス、又我々ガ見テモサウ考ヘラレル、デアリマスカラ、此ノ點ハ組合ノ多數ノ意思ガヤツテ宜シイト云フノナラソレハヤレル、組合ノ意思ガヤツテ惡イト云フノナラヤツテハ惡イノダ、斯ウ云フ風ニ組合員ノ意思ニ依ツテ是ガ決セラレルノダト云フ條文ガ何レカニアルノナラバ、ソレデ纏マリガ付クガ、其ノ意思ガ何處ニモ發揚サレテ居ナイトスルト、結局今府政委員ノ御説明ノヤウニ、組合長ヲ解任スルトカ何トカ、別ノ手段ヲ執

ラナケレバナラヌ委員長ナント云フ適任者ハサウザラニアルモノデハナイ、ドコデモサウ云フ工合ニ彼奴ガ氣ニ入ラナケレバ此奴ニ迭ヘルト云ツテ、簡單ニ人事ハ迭ヘラレルモノデハナイ、デアリマスカラ是ハ是非、世間カラ再ビ地木ガ生レルト云フ懸念ガアルト言ハレルヤウナ疑ヒヲ除ク爲メ、疑ヒバカリデハアリマセヌ、確カニサウ云フ懸念ハ私共ノ經驗カラ見レバアル、デスカラ此ノ點ヲ十分改正スル必要アリト私ハ信ズル、故ニ能ク此ノ點ハ考慮ラシテ戴ク御意思ヲ持ツテ戴キタイ

○平川政府委員 只今御説明シマシタノハ、極端ナ場合ニ於テ解任マデ行キ得ル譯デアリマスカ、其ノ前ニ或ハ經費ノ負擔ノ方法デアリマスとか、或ハ事業計畫ノ設定ト云フヤウナ事柄ガ總會ノ議決事項ニナツテ居ル、今年ハ斯ウ云フ事業ヲヤル、ソレニ付テハ斯ウ云フ費用ガ要ルト云フヤウナ事柄ハ、總會ノ議決事項ニ載ツテ來ル譯デアリマスカ、ソレデ抑ヘラレルデヤナイカ、ソレデモドウシテモ會長ガ專横ヲヤルト云フヤウナ場合ニハ、選任ノ手續マデ行ケルデハナイカ、其ノ點ハ第八十二條ニ依リマシテ、第二十五條ト云フモノガ林産組合ニ準用サレテ居ル譯デアリマス、第二十五條ノ左の事項は、總會ノ議決によらなければならぬ。ト云フ事柄ノ中ニ

「毎事業年度ノ事業計畫ノ設定及び變更」、「賦課金ノ賦課徴收方法」ト云フ事柄ガアリマシテ、是ガ林産組合ノ方ニモ準用セラレテ居ルノデアリマス、隨テ其ノ毎年度ノ總會ノ際ニ、組合員ノ意向ニ依ツテ共同販賣ガイケンイナライケナイト云フコトニナリマスカ、ソレハ出來ナイト云フコトニナル譯デアリマス

○平野(増)委員 此ノ第二十五條ノ規定ハ、出資林業會及ビ林産組合、ドチラニモ適用スルヤウニナツテ居リマスカ

○平川政府委員 サウデアリマス七條ハ可ナリ疑問ガアリマスカ、今ハ此ノ程度デ一應次ニ移リマス

○平野(増)委員 ソレデハ、六十

大臣ガ御見エニナツタ直グデオ氣ノ毒デアリマスカ、大變待ツコト久シカツタ譯デアリマスカ、御尋ネ申シマス、大臣ニ御尋ネシヨウト思フコトハ、法案ノ區々ニ付テ御尋ネヲシヨウト思フノデアリマス、私ハ過日豫算總會デ御尋ネヲ致シマシタ造林ノ問題ニ付テ、理窟ヤ理由ヤ不必要ナル道理ニ付テハ、管々シク述べル必要ハ最早ゴザイマセヌカラ、點要ヲ一ツ中上ゲテ、政府ノ意思ヲ確メテ見タイト思ヒマス、ソレハ折角林業會法案ガ完備致シマシテ、サウシテ全國ニ木材ノ増産ノ準備ガ出來マシタモ、其ノ資源ノ山ヲ坊主ニシテシマツテハ、將來困ルト云

フコトハ言フマデモナイ、ソレデ是レマデニ伐ツタ山ニハ木ヲ植エルト同時ニ、是カラ伐ル所ニモ遅滞ナク植エナケレバナラヌ、ソレニハ過日申上ゲタ通り、下度今ノ民生安定費ノ、失業對策ト云フ問題ト絡ミ付ケレバ非常ニ是ガ旨ク行クノデハナイカ、此ノ絶好ノ「チヤンス」ヲ農林大臣ハ見逃ガサレルヤウナ、ソナナ頭ノ悪い人デハナイト確信スルガ故ニ、私ハ此ノ間大體ノ御明言ヲ得タノデアリマスカ、尙ホマダ何處カニ不十分ナ所ガアルト思ヒマスノデ、此ノ機會ニ重ネテ大臣ノ御意思ヲ伺ヒタイ、是非過日總會申上ゲマシタ失業對策ト合ハセテ、全國ノ森林組合ヲ動員シテ、大々的ニ戰時中非常伐採ヲシタ跡地ヲ綠化シテ戴クト云フコトニ付テ、實行ノ御意思ヲ具體的ニ聽カシテ戴キタイト思フモノデアリマス

○和田國務大臣 公共事業費ノ六十億デアリマスカ、アレニ付テノ内譯ハ、近ク最後のニ決定サレルト思ヒマス、勿論農林省トシマシテモ必要ナ公共事業費、而モアノ六十億ノ豫算ト云ヒマスカ、金ノ使途ガハツニハ食糧、其ノ他生産再開ニ必要ナ生産ニ兎ニ角寄與スルモノト、一ツハソレニ失業者ヲ吸收スルト云フコト、此ノ二ツノ觀點カラ來テ居ルノデ、農林省トシマシタモ其ノ點ニ付テハ十分ナ檢討ヲ致シマシテ、相當ノ豫算額

ヲ計上致シ、又ソレモ認メラレルコトニナルト思ヒマス、勿論森林ノ點ニ付キマシテモ、失業對策ノ點、ソレガ同時ニ造林ト云フ形デ資源ノ造成ニモナルト考ヘマシテ、勿論アノ中ニ入レテ居ル譯デアリマス

○平野(増)委員 御趣旨ノ大體ノ御方針ハ分リマシタガ、私ノ聽キタイ最重要ナル點ハ、豫算總會デ申シタ如ク、少クトモ十億以上ノ資金ガナケレバ、戰時非常伐採跡地ヲ綠化スルト云フコトニ付テ駄目ダト、斯様ニ信ズルノデアリマス、是ハ私ガ信ズルバカリデハナイ、農林當局ニ於テモ無論左様ニ信ジテ居ラレルコトト思ヒマスガ是非此ノ六十二億ノ豫算ノ中カラ、十億以上ノ金ヲ農林省ノ林業ノ方面ニ割イテ、失業對策ノ途ヲオ立テニナルト云フコトニ付テ、過日農林大臣ハ、私ヨリ遙カニ以上ノ熱意ヲ以テヤルト、斯ウ仰セニナツタカラ、此ノ點ニ付テハ私ハ非常ニ感謝ヲ申上ゲマス、併シ是ハ具體的デハナイ、ソレデ折角非常ニ熱意ヲ御持チニナルト云フノナラ、此ノ際一般ノ森林組合並ニ全國ノ國民ガ安心ヲスルヤウニ、少クトモ民生安定費ノ今ノ六十二億ノ中、十億以上ノ金ヲ其ノ方ニ振向ケラレルヤウニ努力スルト云フ御一言ヲ農林大臣ヨリ一ツ承リタイ

○和田國務大臣 ドウモ豫算ノ内

譯ノコトニ關シテ、十億以上ヲドウシロト仰シヤイマスガ、是ハ我トシマシテハ、大體公共豫算ノ中ニハ、山林關係ハ八億入ツテ居ルト思ヒマス、ソレニ一般ノ農林省ノ金ガ約十億サウツタ方面ニ出ルコトニナツテ居ルト思ヒマス

○平野(増)委員 其ノ八億ト云フノハ造林關係ニ使ハル金デアリマスカ

○和田國務大臣 ソレハ凡ルモノデアリマスカ、山林關係デ公共事業費ノアノ趣旨ニ副フモノデアリマス

○平野(増)委員 大部分造林ノ方ニ向ケラレルト信ジテ宜シイデスカ

○和田國務大臣 細カイ點ハ一ツ政府委員カラ……

○中尾政府委員 只今大臣カラ申サレマシタ金額ノ中、造林ノ方ハ大體公共事業費ニ含ンデ居リマスノハ七千萬圓程度デアリマス

○平野(増)委員 八億ノ中僅カ七千萬圓デスカ、造林ニ關スルモノハ……

○中尾政府委員 今ノハ治水ノ方ヲ除キマシタ造林事業ガケデアリマス

○平野(増)委員 造林事業ト申シマスルト、具體的ニ言ヘバドウ云フコトニナルノデアリマスカ

○中尾政府委員 本年ノ造林ニ關シマスル總體ノ豫算ノ中ニハ、國有林ノ直營事業モアリマシ、又

有林ノ直營事業モアリマシ、又

民有林ニ對スル助成ノ分モアリマス、兎ニ角金額ニ致シマシテ、大體總體ノ豫算ハ約九千萬圓程度ニ相成ツテ居リマス、其ノ中公共事業費ニ合ンデ居ルノガ七千萬圓ニ相成ツテ居リマス

○平野(増)委員 ドウモ政府委員ノ御答辯ハ私ニビツクリ來ナイノデス、八億ノ豫算ノ中デ、最も大切ナル造林ニ關スル事業費ガ僅カニ七千萬圓、ソレヲ廣ク見デモ九千萬圓シカナイ、ソナコトデ一體何ガ出來ルノデアリマセウカ、何カ間違ツテ居マセウカ、モウ一度御尋ね致シマス、若シ間違ツテ居ナイト云フコトデアレバ、如何ニ山林ニ對スル認識ガ不足シテ居ルカ、若シ左様ナコトデアラナラ、私ハ農林大臣ニ申上ゲルガ、現在ノ山林局ノ當局ハ、日本ノ山林行政ヲ任シテ置クニ足リナイ、非常ニ不安心デアルト思フ、ダカラ恐ラクハ何カノ間違ヒデアラウト思ヒマス

○和田國務大臣 恐ラクハ間違ヒデアナイト思ヒマス、大體斯ウ云フ風ニ御考ヘテ願ヒタイノデアリマス、造林ニ付キマシテハ平野サシノ御熱心ナ御主張ガアリマスガ、私達モ造林ト云フモノハ、屢ミ御答辯申上ゲマシタヤウニ、是非ヤラナケレバチラスモノダト思ツテ居リマス、ソコデ計畫のニ大體二百七十三萬町歩トアナタニ御答辯致シマシタヤウニ、是カラ伐

採サレルモノヲ合メテ二百七十三萬町歩ト云フモノヲ、五箇年計畫デアリマスガ、計畫ヲ立テテ綠地化シテ行カウ、斯ウ云フヤウナ計畫ヲ立テテ居リマス、ソコデ此ノ公共事業費ノ中ニ入リマスルモノハ、是ハ公共事業費ノ性質ト致シマシテ、公共事業ト云フモノデアルト同時ニ失業救済ニナルモノ、此ノ兩面ノ要求ガアル譯デアリマス、ソコデ山林局關係ト致シマシテハ、現在ノ實情ニ於テ造林ヲヤリ得ル最大限度ノ計畫トシテノモノヲソコヘ盛込ンデ居ル譯デアリマシテ、其ノ外ニ沿水ナリ、或ハ其ノ他ノ點モ、災害復舊ノ豫算モ入ツテ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、唯今年度ノ造林計畫ダケガ一億圓足ラズノモノデアルカラ、斯ウ云フコトダケデ御判定ニナラナイヤウニ、キチントシタ計畫ヲ立テマシテ、ソレヲ今後我々トシテハ、着實ニ實際上實行出來ルヤウニヤツテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスルノ

○平野(増)委員 先程ノ御話ノ八億ト云フノハ、何ニ一體ソナ金ガ使ハレルノカ、併シ私ハ、今此處デ此ノ點ヲ是レ以上押合ツテ見テモ要領ヲ得兼ネルト思ヒマスカラ、願ハクバ次會マデニ、山林局長ノ御手許デ造林計畫ニ關スル所ノ、我々素人ガ見デモ一目瞭然ニ分ルヤウナ、何カ計畫案ヲ書イ

テ、サウシテ各委員ニ配ツテ、御示シテ願ヒタイト思フ、私共ノ心配スル點ハ、今日治山治水ト云フ問題ハ、言フマデモナク非常ニ國民ガ熱意ヲ持ツテ居ル問題デス、我々林業ニ關係ヲ持ツ議員トシテ、議會ニ出テ參リマシタ限り、此ノ點ニ付テ是非當局ト十分ニ御話ヲシテ、安心ノ出來ルダケノ方法ガ講ゼラレナイヤウナコトデハ、選舉區ニ歸リ、又何處ニ行ツテモ國民ニ合ハス顔ガナイ、是ハ合ハストカ合ハサナイト云フ問題デハナイ、過日カラ申上ゲテ居ル通り、現ニ水力電氣ナド電源ガ、發電所ヲ造ツタリ、堰堤ヲ造ツタ當時カラ見ルト、半分以上ニ落チテ居ルト云フコトハ爭ヒノナイ事實デアアル、山ハ崩壞スル、土砂ガドン／＼流レテ來ル、斯ウ云フコトデハ日本ノ將來ヲ考ヘテ非常ニ不安デス、ノミナラズ森林ノ伐採ノ資源ヲ段々失ツテシマフ、過日申上ゲタ通り、私ノ計算デ行ケバ、若シ木ヲ植エテ十分ニ山ヲ育テナカツタラバ、二十年ノ後ニハ伐ル木ガナクナルノデハナイカト云フコトマデ心配シテ居ル、此ノ際ニ農林當局ガ造林ニ對シテモウ少シ眞剣ニ熱意アル態度ヲ御執リニナルト云フコトガ、是ハ絕對ニ必要ナンデス、只今ノ山林局長ノ御答辯ナドト云フモノハ、其ノ御態度ト云ヒ、話振リト云ヒ、私共ニハピント來ナイ、モット眞剣

ニ、アナタガ私以上ノ熱意ト眞剣サヲ持ツテ、我々ト協力シテ、是非政府カラ金ヲ取ツテヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ進ンデ來ラレルモノダト私ハ思ツテ居タ、所ガ何ダカ我々ニ攻撃サレテ居ルカラ、ソレヲ受身デ防イデ居ルヤウナ氣分ガ現ハレテ居ル、斯ウ云フ氣分デハ連モ日本ノ林業ノ政策ヲ高カラシメルト云フコトニナラヌト私ハ思フ、私ハアナタヲ不適任ダト申上ゲル譯デハナイガ、私ハ此ノ點ニ付テ眞剣ニ心配シテ居ル、過日農林大臣ハ、私以上ニ御心配下サルト云フ御話ガアツタノデ、私ハ其ノ御言葉ニ對シテ非常ニ喜ンダノデアリマス、デアリマスカラ、山林局長ハ農林大臣ノ意ヲ以テ、十分此ノ點ニ付テ熱意アル態度ヲ御示シナリ、サウシテ民生安定費六十二億ノ中カラ、少クトモ十億位ノ金ヲ貰ツテ來テ、全國ノ山林局ヲ總動員シテ、此ノ伐採シタ山ノ木ヲ植エルト云フコトハ、正ニアナタノ劃期的ナ仕事デアアル、ソレヲ一ツツオヤリニナルダケデ立派ナ功績デアルト思フ、ソレガ僅カニ八千萬圓トカ、七千萬圓トカ云フヤウナ今ノ話ヲ聽イテ、私ハ全ク腰ガ拔ケテ動ケナイヤウナ氣ガスル、仇ヤ疎カニ聽イテ貰ツテハイカヌ、私ハ眞剣ナンデスカラ、若シ本當ニ熱意ノナイ態度ヲ執リニナツテ居ルナラ、私ハ氣ガ違ツテ何ヲ言ヒ出

スカ分ラナイ、其ノ時ニハドウカ氣違ヒガ言フノダカラト云フノデ、オ叱リヲ受ケヌヤウニ願ツテ置キマス、ソレ位眞剣ニ思ツテ居ル、戰爭中國民ノ持ツテ居ル、山主ノ山ヲ、賣リタクモナイ、伐リタクモナイ、先祖カラ傳ツテ居ル山ダト云フノデ、大切ニシテ居ルモノヲ、戰爭ニ勝ツ爲ダト云フノデ無理矢理ニ、厭ガルモノヲ取上ゲテ伐ツテシマツタ、其ノ跡ニ木ヲ植エタイト云ツテモ、植エル力ガナイカラ、放ツタラカシテアルト云フノガ現狀デス、是ハ國トシテハドウシテモ植エルヤウニシナケレバナラヌ、其ノ方法ハ、私共幾ツモ案ヲ考ヘテ居ルノデスカラ當局ニ熱意ガアルナラバ、我々ハ如何様ニデモ御相談ニ乗ツテ、我ノ考ヘテ居ル案ヲ申上ゲル、民間デ考ヘテ居ル案ニモ相當ノ名案ガアルノデス、ドウカ此ノ林業會法案ヲ我々ガ審議スル前ニ、願ハクハ木材ヲ搬出、總テノ林產物ヲ搬出致シマス上ニ於テ、其ノ資源タル山林ノ保護ニ付テ、安心出來ルト云フ風ヲ熱意アル態度ヲ示シテ戴キタイ、之ヲ吳レム、モ御願ヒシテ置キマス、ドウゾ大臣カラ假令具體的ニ數字ハ斯ウト仰シヤラナクテモ、十分熱意アル、私共ノ安心出來ルヤウナ御言葉ヲ御聽キ致シタイ、此ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○和田國務大臣 造林ノ點ニ關ス

三三

ル平野サンノ御熱意ハ、豫算總會以來私承リマシテ、非常ニ有難イト思ツテ居ルノデアリマス、私モ日本ノ山ガ戦争中荒レマシタコトニ付テハ、出ルルグケ早イ機會ニ計畫的ニヤツテ行キタイト考ヘテ、此ノ間カラ御答辯申上ガテ居ル譯デアリマスガ、此ノ公共事業費ト云フモノハ、是ハ私繰返シ申シマシタヤウニ、公共ノ事業、生産ニ直結スルモノデアルト云フコトト同時ニ、失業者ノ救済ト云フコトヲ考ヘテ居ル豫算デアリマシテ、サウナリマス、農林省關係ニ於キマシテモ、色々ノ面デ之ニ必要ナ豫算ガアル譯デアリマス、ソコデ我々トシマシテハ、農林省トシテノ豫算ガ五十億圓ノ中デ非常ニ大キナ割合ヲ占メテ居リマス、是ハ經濟安定本部デ今ヤツテ居リマスカラ、何レ決定ニナルト思ヒマスガ、此ノ中デ造林費ガ、今言ヒマシタヤウニ、兩方合セテ約一億デアルト申シマスノハ、是ハ造林ニ對シテ熱意ガナイト云フノデハナイノデアリマシテ、此ノ造林計畫、是ハ御話ノヤウニ政府ノ方デ計畫ヲ立テテ居ル譯デアリマスカラ、近ク其ノ大體ハ御示シ出來ルト思ヒマスガ、現在ノ色々ナ點カラ考ヘマシテ、二百七十三萬町歩ヲドウ云フ方法デ、又ドノ年限デ實際ニ回復シテ行クカト云フコトニナル譯デアリマス、ソレニ依リマス、ヤハリ全般ノ森林

造成證券デ行クモノモアリマスシ、又國ノ豫算トシテヤツテ行クモノモ色々アル譯デゴザイマス、サウ云フ關係デ、實際上天然更新ヲ加ヘテ、今ノ事情デ出來得ルモノヲ一年分ノ計畫案トシテ立テマシテ、ソレニ要スル豫算ヲ取ツテ行ク、斯ウ云フ形ニナツテ居ルモノデアリマスカラ、如何ニモ此ノ數字自體ガ、アナタノ言ハレルヤウニ一時ニバツトヤツテシマフ、斯ウ云フコトカラ見マスルト御不滿ダラウト思フノデアリマスルガ、其ノ點ハ我々トシテハ、計畫的ニ五年ナラ五年ノ間ニ、是ハ實際上ヤツテ行ク、而モ其ノ計畫タルヤ現在荒レテ居ル所ダケデナクテ、將來或程度伐ツテ荒レルモノ、其ノモノモ含メテ全體ヲ綠地化シテ行ク、斯ウ云フコトデヤツテ居リマスルノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ、是ハ今年度ノミナラズ、將來ト雖モ十分綠地化ト云フコトニ付テハ、政府トシテハ勿論、山林當局トシテモ、勿論熱意ヲ持ツテヤルト思フノデアリマス、ドウカサウ云フ意味デ宜シク御諒承願ヒタイ、斯ウ思フノデアリマス

○平野(增)委員 大臣ノ今ノ御答辯デ満足ハ致サナイノデスガ、併シ今此處デ是レ以上此ノ點ヲ押シ合ツテモ致シ方ガナイカラ、先程中シタ通り、政府ノ造林ニ關スル具體的ノ計畫ヲ、一ツ次會マデニ局長カラ御提出願ヒタイ——御提

出願ヘマスカ

○中尾政府委員 造林ノ重要性ニ關シマシテハ、私等モ十分認識モ致シテ居リマスシ、又熱意モ持ツテ居リマスシ、是ハ積極的ニヤツテ行ク覺悟デ居ルノデアリマシテ、先刻申上グマシタノハ、本年度ノ大體既定事業ニ對シマス既定ノ豫算ニ付テ申上グタノデアリマスガ、大體其ノ本年度計畫致シテ居リマス内容ニ付キマシテ、書類トシテ後デ差上ゲマスガ、大體分ツテ居リマスノデ此處デ御説明ヲ致ス次第デアリマス、本年度造林事業ト致シマシテハ、今マデ大臣カラ何回モ御説明ニナリマシタ通り、本年度ハ四十七萬町歩ヲ豫定致シテ居ルノデアリマス、此ノ四十七萬町歩ノ内容ニ付テ御説明申上ゲマス、此ノ中國有林デ三萬四千八百町歩ヲ豫定シテ居リマス、其ノ三萬四千八百町歩ノ中、人工植栽ニ依リマス分ガ約一萬七千四百町歩、其ノ残りノ一萬七千四百町歩ガ天然更新ト云フ計畫ニ相成ツテ居リマス、之ニ關聯致シマス本年度ノ豫算ガ約四千二百萬圓程度ニ相成ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ官行造林ト致シマシテ六千五百町歩ヲ豫定シテ居リマス、是ハ全部ガ人工植栽デアリマス、此ノ方ノ經費ハ約千六百萬圓程度ニ相成ルノデアリマス、ソレカラ民有林ノ方ノ造林ノ中、造林證券ノ補助ニ依リマスモノガ二

十七萬九千二百町歩ニ相成ツテ居リマシテ、此ノ中人工植栽ニ依リマスモノガ二十二萬四千町歩、ソレカラ播種造林ニ依リマス分ガ五千二百町歩、天然下種ニ依リマス分ガ五萬町歩、内容ハ以上ノ通り相成ツテ居リマシテ、之ニ要シマス豫算關係デアリマスガ、實ハ本年度造林證券ニ依ツテ實行致シマス造林ノ助成ノ分ハ、來年度ノ經費ニ相成ルノデアリマス、本年度ノ豫算ニ上ツテ居リマスノハ、千三百萬圓近クノ經費ガ豫定致サレテ居リマスガ、是ハ前年度即チ二十年度ニ植栽致シマシタ分ニ對スル助成ヲ計上致シテアルノデアリマス、本年度植栽致シマス分ニ對スル助成ハ、來年度ニ支拂フコトニ相成ルノデアリマス、ソレカラ一般助成ノ分ハ、面積デ申シマシテ十四萬六千八百町歩アルノデアリマシテ、此ノ中人工植栽ニ依リマス分ガ五萬六千町歩、播種造林ニ依リマス分ガ三千八百町歩、天然下種ニ依リマス分ガ八萬七千町歩ト云フ内譯ニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ方ノ經費トシテ只今豫定シテ居リマス既定經費ハ、千六百萬圓ト相成ツテ居リマス、是ハ勿論二分ノ一ノ助成デアリマスガ、千六百萬圓ニ相成ツテ居リマス、唯此ノ一般助成ノ分ニ對シマシテハ、總經費デハ不足ノ狀態ニナツテ居リマスノデ、只今此ノ増額ニ付テハ折衝中デアリマス、ソ

レカラ先刻申上グマシタ證券ニ依ル分ノ、大體ノ經費ガドレ位掛ルカト云フコトヲ計算致シテ見マス、ト、先般造林證券ノ額面ノ金額ヲ約四倍ニ増額致スコトニ致シマシタ、其ノ四倍ニ致シマシタ經費デ計算致シマシテ、大體總經費ガ二億一千萬圓バカリ掛ルコトニ相成ツテ居リマス、此ノ中助成ハ其ノ半額ニナリマスカラ、一億圓バカリ掛ルコトニ相成ルノデアリマスガ、是ハ先刻申上グマシタ通りニ、本年度ノ豫算ノ中カラ支拂フノデハナイノデアツテ、來年度ノ豫算ノ中カラ支拂フコトニ相成ルノデアリマス、以上只今豫定致シテ居リマス經費ハ、先刻申上グマシタ約九千萬圓デアリマスガ、今ノ一般助成ノ方モ、是モ目下交渉中ノモノモアリマシテ、之ヲ加算致シマス、モツト殖エルトコトニ相成ルノデアリマス、大體今本年度計畫致シテ居リマス豫算ノコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、今後入夫賃金ノ昂騰、其ノ他ノ實情ヲ見マシテ、實行ガ出來ナイ場合ニハ、更ニ豫算ノ増額ヲ要求スル覺悟ヲ持ツテ居リマス、尙ホ今申上ゲタノハ造林ガケデアリマスガ、其ノ他先刻治水ノ話モアリマシタガ、此ノ方モ積極的ニ實行スルヤウナ計畫ヲ立テ、居リマス

○平野(增)委員 只今ノ御答辯ニ基イテ、此ノ際御尋ネシテ置キタイノハ、造林ノ助成、森林資源造

成法ニ基キ今年度ノ豫算ニ於テハ、アノ法律ガ改正ニナラナケレバ増額ハ出来ナイノデハナイカト思ツテ居リマスガ、アノ法律ヲ御改正ニナル意思ガアルノカドウカ、ソレヲ承ツテ置キマス

○平川政府委員 森林資源造成法ニ於キマシテハ、證券ノ發行額ヲ總額三億圓ト抑ヘテ居ル、併シナガラソレノ造林ニ對スル券面額ト云フモノハ、農林省ノ告示デ致スコトニナツテ居リマス、此ノ單價ハ從來非常ニ安クアリマシテ、今回平均致シマシテ、造林八百六十圓、撫育五百圓ト云フ程度ニ單價ヲ増額致シタ譯デアリマス、隨テ法律ヲアノ儘ニ致シテ置キマス、總造林面積ノ方減ツテ來ルト云フ關係ニナリマスノデ、將來之ヲ改正致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○平野(増)委員 私ノ心配シテ居ル通りデアアルコトガ分リマシタガ、三億圓マデハ出セルガ、ソレ以上ハ出セナイト、斯ウ云フ所デ抑ヘラレテ居ル爲ニ、アノ森林資源造成法ガ出来マシタ當時ニハ、ソレデ是ダケノ山ガ植ハルノダト云フ考ヘデアツタ所ガ、今日デハ其ノ豫算ノ少クトモ十倍位ノモノヲ掛ケナケレバ木ハ植エラレナイ、サウスルト假ニ百町歩出來ルト思ツタノガ十町歩シカ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ非常ニ變化ヲ見テ居ル日本ノ現狀ト致シマシテ

ハ、何デモ彼デモ、凡ユル方法ヲ以テ山ヲ緑化スルト云フコトヲヤツテ戴カナケレバナラナイ、ソコデ私ノ考ヘデハ、原則トシテ政府ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ欲シイト思フ、是ハ大臣ニ一ツ能ク考ヘテ戴キタイ、豫算ノ金トカ、或ハサウ云フ數字デ以テ山ニ木ヲ植エルト云フ、即チ金デ切ツテ植林スルト云フ豫算計畫ハ、斯ウ云フ經濟界ノ變動測ルベカラザル時ニハ、結局實行不可能ニ終ル、案ヲ立テタ時ト、愈々木ヲ植エルトハ少クトモ相當時日ガ經ツ、其ノ間ニ非常ニ變化ガ來ル、デアリマスカラ、結局總テガ實行不可能ニナラ、今各方面カラ、其ノ助成法ニ基イテ申請シテ來テ居テ、許可ニナツテヤツテ居ルト云フモノモ、證券ヲ貰フマデニ果シテ木ガ植エラレルカドウカ、私ハ非常ニ覺束ナイコトダト思ツテ居リマス、デアリマスカラ、私ノ考ヘデハ、原則トシテ斯ウ考ヘテ欲シイノデ

ス、是ハ大臣ガ政治的ニ考ヘテ貰ヒタイ、私ノ知ツテ居ル範圍ニ於テ、殊ニ岐阜縣ノ飛騨國ハ有名ナ日本ノ林業國デアリマス、アレダケノ森林ガ今日殘サレテ來タト云フコトヲ、徳川時代ノ藩政ニ付テ調ベテ見ルト、彼處ハ天領デアリマス、サウシテ一本ノ木ヲ伐レバ必ズ十本ノ木ヲ植エテ返サナケレバ牢ヘ入レル、斯ウ云フ制度デアツタノデアリマスカラ、百姓ガ山

ヘ行ツテ山ヲ緑キマスルノニ、代官所カラ許可ヲ受ケテ、サウシテ其ノ山ヲ伐ル、百木伐レバ必ズ千本ノ木ヲ植エテ返ス、斯ウシナケレバ其ノ人ハ罪人ニナル、斯ウ云フ嚴重ナコトガ行ハレタ、殊ニ木會ナドニ於キマシテハ最も其ノ點ガ強カツタ、ソレデ木會ニアレダケノ森林ガ残り、飛騨ニアレダケノ立派ナ森林ガ殘ツタト私ハ信ズルノデアリマス、ドウシテモ金デ決メナイデ斯ウ云フヤウナ或ル事柄デ以テ、決メナケレバナラヌ、ソコデ私ノ考ヘテ居ルコトハ、山主ガ山ヲ賣ツテ、サウシテ其ノ木ヲ伐採シタ跡地ニハ、少クトモ三年以內ニハ、ヤハリ木ヲ植エナケレバナラヌノダト云フ義務ヲ負ハスベキ法律ヲ作ツテ戴キタイ、サウスレバ山主ガ山ノ木ヲ賣ル時ニ、ソレダケノ山ニ木ヲ植エル責任ヲ持ツ、其ノ場合ニドレダケ金ヲ掛ルカ、隨テ政府ハ、ソレニ對シテドレダケ助成ヲスルカト云フコトヲ決メテ戴カナケレバナラヌ、ヤハリ最初山ヲ賣ル時ニ、ソレダケノ造林費ヲ見込シテ賣ルノガ最も正シイ途ト思フノデアリマス、其ノ代リ國ハ法律デソレダケノ責任ヲ持ツ、若シ其ノ義務ヲ果サナケレバ、其ノ山林ハ沒收スル、若シハ國デ植林ヲシタ場合ニ、昔ハ三公八民トカ、二民トカ色々ナ制度ヲ以テヤツテ居タ、秋田アタリハ恐ラク六分ガ植エタ人ノモノ

デ、四分カオ上ノモノダト云フ、所謂四公六民ト云フヤウナ制度ガ行ハレタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、兎ニモ角ニモ何等ガサウ云フ風ナ變ツタ考ヘ方デ、伐ツタ後ハ必ズ木ヲ植エナケレバナラヌノダト云フ風ニシテ戴ケバ、安心シテ日本ノ山ヲ護ツテ行ケル、斯様ニ思フノデアリマス、是ハ別ニ大臣ニ答辯ヲ求メル譯デアリマセヌガ、私ハ政治的ニサウ云フコトヲ考ヘテ戴キタイと思フ、假ニ森林資源造成法ノ豫算ヲ上ゲテ戴イテモ、勞銀、物價ガ上レバ又上ゲナケレバナラヌ、サウ後ヲ追フテ上ゲテモ物ハ出來テナイ、今デハ不安ヲ感ジテ、金ヲ幾ラ貰ツタカラ木ガ植エラレルトハ考ヘラレナイ、ドウシテモ今年只今ニ間ニ合ハスニハ、先程ノ話ニ戻リマスガ、ヤハリ厚生大臣ト御相談ニナツテ、何デモ彼デモ失業對策トシテ、アリ金ヲ山ノ方ニ振向ケルト云フコトヲ、大臣ノ政治的手腕ヲ以テ是非ヤツテ戴キタイト云フコトヲ重ネテ要望致シマス

此ノ際委員長ニ御伺ヒ致シマスガ、閣下務大臣ハ今日御出席ハ駄目デアリマスカ

○森委員長 先程申シゲタ通りデス

○平野(増)委員 實ハ農林大臣ト御一緒ノ時ニ、私ハ重要ヲ御尋ネヲ致シタイメデアリマス、私ガ此ノ兩大臣ノオイデ所デ御話ノヲ致シタイト云フ問題ハ、此ノ林業會法案ヲ通ジテ一番重要ナ點ダト信ジテ居リマスノデ、今日オイデニナラナケレバ、甚ダ遺憾デアルケレドモ、此ノ點ハ次會ヘ延バスヨリ致シ方アリマセヌ、ソコデ私ハ前ノ質問ノ續キハ戻ツテ御尋ネ致シタイと思ヒマス

第八十九條ノ「木材統制法第六條」云々ト云フ、此ノ八十九條ノ條文ノ内容ヲ御説明願ヒタイと思ヒマス

○平川政府委員 此ノ「木材統制法第六條、第七條及び第三十八條の規定」ト云フノハ、企業許可ニ關スル規定デアリマシテ、第六條ハ企業ノ許可ヲ木材業等ヲ營ム者ガ受ケナケレバナラヌト云フコト、第七條ハ、場合ニ依リマシテ其ノ許可ヲ受ケタ者ノ取消ヲ致スコトガ出來ルト云フコト、他ハ之ニ對スル罰則等デアリマス

○平野(増)委員 木材統制法ノ規定ノ中、之ニ何箇條ガ書イテアルノハ、全部企業許可ニ關スル關係ナノデスカ、外ノコトハナイノデスカ

○平川政府委員 左様デアリマス

○平野(増)委員 木材統制ハ今回廢止ニナルノデアリマス、ナクナル法律ヲ、今後存續スル此ノ法律ノ條文ニ殘スト云フノハドウ云フ意味デアリマスカ

○平川政府委員 此ノ企業許可ノ制度ト云フモノハ、此ノ林業會法

シタイト云フ問題ハ、此ノ林業會法案ヲ通ジテ一番重要ナ點ダト信ジテ居リマスノデ、今日オイデニナラナケレバ、甚ダ遺憾デアルケレドモ、此ノ點ハ次會ヘ延バスヨリ致シ方アリマセヌ、ソコデ私ハ前ノ質問ノ續キハ戻ツテ御尋ネ致シタイと思ヒマス

○平川政府委員 此ノ「木材統制法第六條、第七條及び第三十八條の規定」ト云フノハ、企業許可ニ關スル規定デアリマシテ、第六條ハ企業ノ許可ヲ木材業等ヲ營ム者ガ受ケナケレバナラヌト云フコト、第七條ハ、場合ニ依リマシテ其ノ許可ヲ受ケタ者ノ取消ヲ致スコトガ出來ルト云フコト、他ハ之ニ對スル罰則等デアリマス

○平野(増)委員 木材統制法ノ規定ノ中、之ニ何箇條ガ書イテアルノハ、全部企業許可ニ關スル關係ナノデスカ、外ノコトハナイノデスカ

○平川政府委員 左様デアリマス

○平野(増)委員 木材統制ハ今回廢止ニナルノデアリマス、ナクナル法律ヲ、今後存續スル此ノ法律ノ條文ニ殘スト云フノハドウ云フ意味デアリマスカ

○平川政府委員 此ノ企業許可ノ制度ト云フモノハ、此ノ林業會法

ノ如ク將來恒久的ナツノ立法デハアリマセヌデ、成ベク早イ機會ニ於テ之ヲ撤廢致シタイ、但シ現在ノ經濟事情ノ下ニ於テ、經濟安定本部ト云フヤウナモノガ存在シテ、或ル程度ノ自主的統制ヲ行ツテ參ルト云フ情勢ノ下ニ於キマシテハ、此ノ自主的統制ヲ行フ爲ノ補助的手段トシテ、企業許可ト云フコトガヤハリ必要デアラウ、ソコデ經過的ニ之ヲ存續致スト云フヤウナ意味デアリマス、詰リ經過規定デアラカラ、附則ノ所ニ入レルニ至ツタ譯デアリマス

○平野(増)委員 「勅令で定める期間を限り、同條の規定にかかはらず、なほその效力を有する。」ト云フノハ、勅令デサウ云フ期間ガ決メラレルノデスカ

○平川政府委員 左様デアリマス

○平野(増)委員 其ノ期間ハドレ位デスカ

○平川政府委員 是ハ經濟安定本部ノ存續スル期間ト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、經濟安定本部ノ方ガ一應一箇年ト云フコトニナツテ居リマスカラ、其ノ通りニ致ス積リデ居リマス

○平野(増)委員 ソレナラバ勅令デ定メル期間ト云フヤウナコトヲ別ニ致サナイデ、ハツキリ其ノ通り書イタラドウデスカ

○平川政府委員 是ハ經濟安定本部ノ存續スル期間ト云フ書キ方モアル譯デアリマスガ、併シ法律ノ

體裁ト致シマシテ、斯ウ方フ經濟安定本部ノ存續スル期間ト云フヤウナコトハ言ハナイデ、勅令ノ方デ「經濟安定本部ノ方デモ勅令一年間ト云フコトヲ書イテ居リマス」ノデ、コチラノ方モ勅令デソレト同ジ期間ヲ書イテ行ク、斯ウ考ヘテ居リマス

○平野(増)委員 八十九條ニ於テ、政府ハ企業許可ノ必要アリトシテ、斯ウ云フ分リニタイ條文デ以テ其ノ點ヲ規定シテ居ラレルノデアリマスガ、條文ノ分リニタイコトハ、承ハレバ大體諒解ハ出來ルノデアリマスガ、原則トシテ私ハ此ノ際斯ウ云フ條文ハ撤廢シテ企業ノ自由ヲ與ヘタラ宜イ、サウスルト自由ヲ與ヘルト、何デカ自由放任ニナツテシマフト思ツテ、誰デモ材木屋ヲ始めテ始末ガ付カヌト云フヤウニ考ヘル考ヘ方モツアル譯デスカ、併シ又一ツハ、一々許可ヲ受ケナケレバ出來ナイノダト云フヤウナ窮屈ナ考ヘ方モ是モ宜クナイ、自由ニ誰デモヤレルノダト云ツタ所デ、マサカ木材ニ經驗ノナイ、何ノ知識モナク、確信モナイ者ガ材木屋ニナリハシマセヌ、ヤハリヤツテ見ヨウト云フノニハ相當資本ガ掛カル、努力モ掛カル、ソジテ損ヲシナイヤウニシナケレバナラヌト云フ點ガ根本デアリマス、デアリマスカラ誰デモ自由ニヤルノダト言ツテモ、誰デモ其ノ日カシ直グ材木屋ニナ

ル、ソレナモノデハアリマセヌ、ソレカラ材木屋ガ多クナリ過ギレバ、必ズ生産ガ多クナツタ材木ガ下リマス、下レバ損ヲスル、損ヲスレバソコデ整理サレル、デアリマスカラ製材工場デモサウデス、企業許可ヲ以テ之ヲ取締リナケレバ、工場ガ濫立シテ非常ニ弊害ガ起ルト云フコトヲ申シマス、ケレドモ許可ノ制度ヲ持ツテ居ルカラ工場ガ濫立シナイ、サウ云フモノデハナイ、濫立スル時ニハ必ズ濫立シマス、ナゼカト云フト、製材工場ヲ作レバ儲カリサウダト云フ時ニハ必ズ濫立スル、現ニ既ニ私ノ縣ノ岐阜縣ナドデモ、今日ハモウ非常ニ濫立シテ現ハシテ居リマス、一々上デ取締ルケレドモ濫立スル、ナゼナラバ、此ノ許可ヲ與ヘル官廳其ノモノガ、實際此ノ許可ヲ與ヘテ宜イノカ悪イノカ、ソレカラ此ノ程度デ適當ナカ不適當ナカト云フ判斷スル能力ガナイノデス、能力ガナイモノガ許可權ヲ握ツテ居ツテ、ソシテ其ノ許可權下云フモノデ其ノ目的ヲ達シヨウナント云フコトハ、是ハ實ニ間違ツタコトデス、ソレヨリハ大體ニ於テ自由ニヤラセルト云フ考ヘ方ヲ持ツテヤリマシテモ、誰デモ製材工場ヲ立テルニハ資本モ掛カル、努力モ掛カル、ソレヲ掛ケテ而モ儲ケヨウト云フノガ、損ヲスルト云フコトナラヤリハシマセヌ、デアリマスカラ材木屋ノ増

産、總テ物ノ生産ヲ增強スルト云フコトガ大眼目デアル場合ニハ、成ベク窮屈ナコトヲサセヌヤウニ、成ベク自由ヲ與ヘル、ソシテ其ノ人ノ創意ト工夫ヲ活カスヤウニシテヤルト云フコトヲ原則トシテ考ヘナイ限り物ハ出來ナイ、出來タ品物ヲドウ云フ風ニ扱フカト云フコトニ付テハ、是ハ私ハ經濟安定本部デ相當ニ考ヘラレル必要ガアルト思フガ、物ヲ作ル上ニ於テハ、モウ少シ窮屈ナ思ヒヲサセナイト云フコトヲ原則トシテ行ク必要ガアル、併シ此ノ八十九條ノ企業許可ト云フモノハ、原則ニ於テハ、ドコマデモ永久ニ抑ヘテ行カナケレバナラヌト云フ考ヘデハナイト云フ御説明デアリマスカラ、私ハソレヲ飽マデ主張シヨウトハ言ヒマセヌガ、私ハ自分ノ經驗ノ上カラ、是ハ左様ニ考ヘテ居リマス、ドウカ斯ウ云フ點ニ付テハ政府デハ窮屈ニサセヌヤウニト云フ考ヘ方デヤツテ戴キタイ、同時ニ此ノ許可ヲ與ヘルヘヌト云フ取締ト云フモノハ、本當ニ實質カラ言フト下ラヌモノデス、運動サヘ巧クアレバドンナ者デモ許可ガ取レル、運動ヲシナイ奴ハ許可ガ取レナイ、此ノ一ロデ盡キテ居ル、デスカラアナタ方ノ方ハ許可權ヲ握ツテ居ルト云フコトヲ、大變エライモノヲ握ツテ居ルト思ツテ居ルガ、實質ハ下ラナイモノダト云フコトヲ御承知シ願ヒタイ

(其ノ通りダ)許可ヲ取ラウト思ヘバ何デモナイ、一寸運動サヘスレバ取レルンダカラ、我々ハ左程氣ニシテ居ナイ
ソレカラ今度ハ九十一條ト九十二條ト九十三條ト三箇條ハ、私ハ根本的ニ削除シタ方ガ宜イト考ヘテ居リマス、其ノ譯ハ、日本林業會ガ成立シタ時ハ社團法人日本林業會ハ解散スル、斯ウ書イテアリマシテ、此ノ三箇條ノ條文ヲズツト續ケテ見マス、結局解散ハ嘘デ、實質ハ社團法人日本林業會ガ、新シク生レル今度ノ林業會ヘ肩替リマス、斯ウ云フコトニナツテ居ル、是ハ私ハ非常ニ宜クナイコトダト思ヒマス、ナゼ宜クナイカト申シマス、戰時中ニ權力ヲ振ツテ業界ニ臨ンデ、何カ號令ヲ下シテ來タヤウナ立場ニアツタ團體ガ、今度再ビ民主的議會デ出來タ法律ノ結果ニ依ツテ生レル此ノ純眞ナ日本林業會ヘ、肩替リシテ入ツテ來ルト云フヤウナ氣分ハ、實質ハドウアラウトモ、大體私ハ宜クナイト思フ、是ハ多クヲ論ズルニ及バヌ、根本ニ於テサウ云フ考ヘ方ガ宜クナイノダカラ、實質ハ、ドンナ辯解ガアリマシテモ、此ノ點ハ政治的ニイケナイ、又、社會的ニ見テイケナイ、思想的ニ見テイケナイ、何處カヲ見テモイケナイ、宜イ所ガタツタ一ツアル、何カ、椅子ヤ「テーブル」ノ安イ物ガ其ノ儘置ヘルト云フコ

誰デモ材木屋ヲ始めテ始末ガ付カヌト云フヤウニ考ヘル考ヘ方モツアル譯デスカ、併シ又一ツハ、一々許可ヲ受ケナケレバ出來ナイノダト云フヤウナ窮屈ナ考ヘ方モ是モ宜クナイ、自由ニ誰デモヤレルノダト云ツタ所デ、マサカ木材ニ經驗ノナイ、何ノ知識モナク、確信モナイ者ガ材木屋ニナリハシマセヌ、ヤハリヤツテ見ヨウト云フノニハ相當資本ガ掛カル、努力モ掛カル、ソジテ損ヲシナイヤウニシナケレバナラヌト云フ點ガ根本デアリマス、デアリマスカラ誰デモ自由ニヤルノダト言ツテモ、誰デモ其ノ日カシ直グ材木屋ニナ

誰デモ材木屋ヲ始めテ始末ガ付カヌト云フヤウニ考ヘル考ヘ方モツアル譯デスカ、併シ又一ツハ、一々許可ヲ受ケナケレバ出來ナイノダト云フヤウナ窮屈ナ考ヘ方モ是モ宜クナイ、自由ニ誰デモヤレルノダト云ツタ所デ、マサカ木材ニ經驗ノナイ、何ノ知識モナク、確信モナイ者ガ材木屋ニナリハシマセヌ、ヤハリヤツテ見ヨウト云フノニハ相當資本ガ掛カル、努力モ掛カル、ソレヲ掛ケテ而モ儲ケヨウト云フノガ、損ヲスルト云フコトナラヤリハシマセヌ、デアリマスカラ材木屋ノ増

誰デモ材木屋ヲ始めテ始末ガ付カヌト云フヤウニ考ヘル考ヘ方モツアル譯デスカ、併シ又一ツハ、一々許可ヲ受ケナケレバ出來ナイノダト云フヤウナ窮屈ナ考ヘ方モ是モ宜クナイ、自由ニ誰デモヤレルノダト云ツタ所デ、マサカ木材ニ經驗ノナイ、何ノ知識モナク、確信モナイ者ガ材木屋ニナリハシマセヌ、ヤハリヤツテ見ヨウト云フノニハ相當資本ガ掛カル、努力モ掛カル、ソレヲ掛ケテ而モ儲ケヨウト云フノガ、損ヲスルト云フコトナラヤリハシマセヌ、デアリマスカラ材木屋ノ増

誰デモ材木屋ヲ始めテ始末ガ付カヌト云フヤウニ考ヘル考ヘ方モツアル譯デスカ、併シ又一ツハ、一々許可ヲ受ケナケレバ出來ナイノダト云フヤウナ窮屈ナ考ヘ方モ是モ宜クナイ、自由ニ誰デモヤレルノダト云ツタ所デ、マサカ木材ニ經驗ノナイ、何ノ知識モナク、確信モナイ者ガ材木屋ニナリハシマセヌ、ヤハリヤツテ見ヨウト云フノニハ相當資本ガ掛カル、努力モ掛カル、ソレヲ掛ケテ而モ儲ケヨウト云フノガ、損ヲスルト云フコトナラヤリハシマセヌ、デアリマスカラ材木屋ノ増

トガアリマセウ、ソノナ物ガ欲シ
カツタラ何處カラデモ買ツテ來ラ
レル、又解散スル時ニ話ヲスレバ
買ヘル、又人間ノ良イ人ガ居レバ、
其ノ人モ買ツテ來ラレル、デアリ
マスカラ、斯ウ云フ誤解シ易イヤ
ウナ、サウシテ會テ戰爭中ニ或ル
權力ヲ振ツテ業界ニ臨マレタヤウ
ナ、サウ云フヤウナ團體ヲ背負ヒ
込ムト云フヤウナ斯ウ云フ條文
ハ、此ノ際綺麗サツパリトナクシ
テ實ヒタイ、斯様ニ考ヘルモノデ
アリマス、此ノ點ニ付テ御意見ヲ
承リタイ

○平川政府委員 是ハサウ云フ辯
解ヲスルダラウト云フコトヲ前提
ニシテ御議論サレタヤウデアリマ
スガ、現在ノ日本林業會ト云フモ
ノハ、是ハ飽マデ解散ヲスルン
ダ、隨テ是ガ其ノ儘肩替リヲスル
ト云フ觀念デハナイ、飽マデモ新
シイ日本林業會ト云フモノガ、各
縣ノ林業會ヲ基礎ト附シマシテ出
來ル、即チ各縣デ其來テ來ルソレ
ソレ林業會ノ集リデ以テ、新シイ
日本林業會ト云フモノガ設立サレ
ル譯デアリマス、唯現在或ル程度
ノ財産モ有シ、又或ル程度ノ施設
ヲ持ツテ居ル日本林業會ト云フ社
團法人ガアリマスカラ、是ノ解
散ヲシテ資産ヲ貰ハウ、別ニソレ
ニ付テハ前林業會ヲ解散シテ、
又新シク此ノ財産ヲ個々別々ニ買
受ケル、或ハ全然別ノ方カラ買受
ケルト云フコトニナリマスレバ、

無駄ナ費用ヲ出ル譯デアリマスシ
折角斯ウ云フ團體ニ於テ林業ニ
關スル仕事ヲシテ參リマシタノ
デアリマスカラ、是ノ持ツテ
居リマスル財産ナリ、其ノ他ヲ
特ニ税金ヲ課セラレルコトナシ
ニ引受ケテモ宜イデハナカラウ
カ、固ヨリ新シイ林業會ハ、各縣
ノ林業會ヲ基礎ニシテ設立サレ
ル譯デアリマス、隨テ其ノ林業會
中樞デアル役員ナドハ新シク任命
サレルト云フコトニニリマスノデ
別ニ其ノ爲ニ何カ元ノ臭味ヲ、其
ノ儘引受ケルト云フコトニモナラ
ナイデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ
居リマス

○平野(増)委員 私ノ豫想シタ通
リノ御答辯ヲ今承リマシタガ、大
抵分ツテ居ルカラ豫防シテ置イタ
ノデアアル、ケレドモ同ジヤウナ御
答辯デアリマス、是ハモウ長イ短
イヲ言フ必要ハナイト思フ、恐ラ
ク之ヲドウシテモ必要ダト言ツ
テ、強ヒテ無理ニ御説明ヲ重ネラ
レ、バ、段々私共モ言ヒタクナイ
コトヲ言ハナクテハナラヌヤウニ
ナル、デスカラ、是ハアツサリ私
ハ創除シタ方ガ宜イト思ヒマス、
持ツテ居ル財産ガ税金ヲ拂フコト
ナク安ク買ヘルト云フヤウナコト
ハ極メテ小サナ問題デス、ソレヨ
リモ古イ林業會ハ、戰時中ニ出來
テ、而モ戰時中ニ何ヲシテ來タ
カ、日本全國ノ材木業界ノ人ニ、
東京ニ社團法人日本林業會ト云フ

モノガアル、而シテ其ノ會長ガ横
川某ダ、斯ウ云フコトヲ言ヒマシ
テモ、十人ノ中恐ラク九人半マデ
ハ、サウ云フモノガアルト云フコ
トヲ知ラナイ、私共モ最近マデ知
ラナカツタ、我々ノヤウナ業界ノ
コトヲ相當知ツテ居ル積リデ居ル
者デモ知ラナカツタ、サウ云フモ
ノガ今頃ボコツト出テ來テ、才化
ノヤウナ權利義務ヲ繼承スルノ
ダ、而モ前ノ方ニ解散スルト書イ
テアル、モウ少シ讀ンデ行クト、
他ノ法令中清算ニ關スル規定ハ之
ヲ適用シナイトアル、解散スルモ
ノナラ清算スルノダト思フト、清
算ノ規定ハ適用シナイデ、權利義
務ハ繼承スルノダ、是レ程マデ
ニ、法律ノ尊イ條文ヲ三箇條マデ
モ羅列シテ、此ノ社團法人日本林
業會ノ權利義務ヲ繼承シナケレバ
ナラヌト云フヤウナコトヲ、政府
ガ御心配ナサルコトハ私ハ無用ノ
コトデハナイカ、之ニハ非常ニ業
界各方面ニ疑惑ガ起ツテ居ルノデ
ス、私ハ序デゴザイマスカラ徹
底的ニ憎マレロウ申上ガマスガ、
現在ノ社團法人ノ會長横川氏ハ數
百萬圓ノ運動費ヲ投ジテ、サウシ
テ是ガ肩替リヲシテ、自分ガ次ノ
林業會長ヲ狙ツテ盛ニ運動ヲシ
テ居ル、而モ其ノ運動ナルモノガ

モノガアル、而シテ其ノ會長ガ横
川某ダ、斯ウ云フコトヲ言ヒマシ
テモ、十人ノ中恐ラク九人半マデ
ハ、サウ云フモノガアルト云フコ
トヲ知ラナイ、私共モ最近マデ知
ラナカツタ、我々ノヤウナ業界ノ
コトヲ相當知ツテ居ル積リデ居ル
者デモ知ラナカツタ、サウ云フモ
ノガ今頃ボコツト出テ來テ、才化
ノヤウナ權利義務ヲ繼承スルノ
ダ、而モ前ノ方ニ解散スルト書イ
テアル、モウ少シ讀ンデ行クト、
他ノ法令中清算ニ關スル規定ハ之
ヲ適用シナイトアル、解散スルモ
ノナラ清算スルノダト思フト、清
算ノ規定ハ適用シナイデ、權利義
務ハ繼承スルノダ、是レ程マデ
ニ、法律ノ尊イ條文ヲ三箇條マデ
モ羅列シテ、此ノ社團法人日本林
業會ノ權利義務ヲ繼承シナケレバ
ナラヌト云フヤウナコトヲ、政府
ガ御心配ナサルコトハ私ハ無用ノ
コトデハナイカ、之ニハ非常ニ業
界各方面ニ疑惑ガ起ツテ居ルノデ
ス、私ハ序デゴザイマスカラ徹
底的ニ憎マレロウ申上ガマスガ、
現在ノ社團法人ノ會長横川氏ハ數
百萬圓ノ運動費ヲ投ジテ、サウシ
テ是ガ肩替リヲシテ、自分ガ次ノ
林業會長ヲ狙ツテ盛ニ運動ヲシ
テ居ル、而モ其ノ運動ナルモノガ

又信ズベキモノデヤナイケレド
モ、勝手ニ人ガサウ云フコトヲ言
ヒ觸ラセバ、我々マデモ其ノ運動
ノ仲間ニ卷込マレタ一人デアリヤ
シナイカ、又一方ニハ、木材需給
聯盟ト云フモノガ出來テ、是モ前
代議士ノ私ノ友人ノ松浦君ガ頻リ
ニヤツテ居ル、是ガ横川ト張合ツ
テ、日本林業會ノ會長ヲ二人デ爭
ツテ居ルノダ、兩方ガ運動費ヲ使
ツテ火花ヲ散ラシテヤツテ居ルノ
ダ、斯ウ云フヤウナ馬鹿々々シイ
噂ガ盛ニ流布サレテ居ル今日ニ
於テ、何ノ必要ガアツテ斯ウ云フ
疑ヒヲ受ケルヤウナ條文ヲ、何處
マデモ政府委員ハ、固守セラレ
カ、サウシテ之ヲ飽クマデ固ク執
ツテ、必要ダト主張セラレルナラ
バ、我々ハモウ一步進ンデ、此ノ
疑ナリ、世間ノ噂ナリヲ、モウ一
ツ進ンデ言ハネバナラス、ソレハ
言ヒタクナイ、ソコマデ言フトア
ナタ方ニ對シテ洵ニ相濟マヌト思
フカラ言ハナイ、言ハナイケレド
モ色々ナコトヲ言ツテ居リマス、
デスカラ、痛クモナイ肚ヲ探ラレ
ルヤウナ、斯ウ云フクダラナイコ
トハ何ノ必要ガアルカト言フニ、
是ガナケレバ日本林業會ト云フ新
シイ林業會ガ成立シナイデ、ナケ
レバ、生レナイデモナケレバ、又
生レタモノガ良クナラナイノデモ
何デモナイ、故ニ是ハ是非撤回ス
ルト云フ風ニ私共ハ修正致シタイ
ト斯ウ云フ意見デアリマス、之ニ

又信ズベキモノデヤナイケレド
モ、勝手ニ人ガサウ云フコトヲ言
ヒ觸ラセバ、我々マデモ其ノ運動
ノ仲間ニ卷込マレタ一人デアリヤ
シナイカ、又一方ニハ、木材需給
聯盟ト云フモノガ出來テ、是モ前
代議士ノ私ノ友人ノ松浦君ガ頻リ
ニヤツテ居ル、是ガ横川ト張合ツ
テ、日本林業會ノ會長ヲ二人デ爭
ツテ居ルノダ、兩方ガ運動費ヲ使
ツテ火花ヲ散ラシテヤツテ居ルノ
ダ、斯ウ云フヤウナ馬鹿々々シイ
噂ガ盛ニ流布サレテ居ル今日ニ
於テ、何ノ必要ガアツテ斯ウ云フ
疑ヒヲ受ケルヤウナ條文ヲ、何處
マデモ政府委員ハ、固守セラレ
カ、サウシテ之ヲ飽クマデ固ク執
ツテ、必要ダト主張セラレルナラ
バ、我々ハモウ一步進ンデ、此ノ
疑ナリ、世間ノ噂ナリヲ、モウ一
ツ進ンデ言ハネバナラス、ソレハ
言ヒタクナイ、ソコマデ言フトア
ナタ方ニ對シテ洵ニ相濟マヌト思
フカラ言ハナイ、言ハナイケレド
モ色々ナコトヲ言ツテ居リマス、
デスカラ、痛クモナイ肚ヲ探ラレ
ルヤウナ、斯ウ云フクダラナイコ
トハ何ノ必要ガアルカト言フニ、
是ガナケレバ日本林業會ト云フ新
シイ林業會ガ成立シナイデ、ナケ
レバ、生レナイデモナケレバ、又
生レタモノガ良クナラナイノデモ
何デモナイ、故ニ是ハ是非撤回ス
ルト云フ風ニ私共ハ修正致シタイ
ト斯ウ云フ意見デアリマス、之ニ

對シテ尙ホ必要ダト云フ理由ヲ強
調セラレルナラバ承リタイ

○和田國務大臣 是ハ斯ウ云フ風
ニ實ハ御考ヘ願ヒタイノデス、色
色噂ガアル、私噂ハ知リマセヌ
ガ、今度出來マス日本林業會ト云
フモノハ、從來アリマシタ日本林
業會トマルキリ違ツタモノデア
ルノデアリマス、從來ノ日本林業會
ト云フモノト、今度ノ日本林業會
ガ同ジモノデアレバ別デアリマス
ガ、是ハマルキリ御説ノヤウニ違
フノデアリマス、而モ今度出來マ
スル日本林業會ハ、森林組合ナリ
林産組合ナリ、ソレ等ノモノノ力
ニ依ツテ出來ル譯デアリマス、隨
ヒマシテ日本林業會ノ、例ヘバ役
員ニシマシテモ、何ニシマシテモ、
民間ノ人ガ自主的ニ實際ニ選ブ譯
ナノデアリマス、ソコデ今度出來
マスル日本林業會ト云フモノガ、
サウ云フ性格デアルト云フコトガ
非常ニハツキリシテ居リマスノ
デ、從來アリマスル日本林業會ト
云フモノニ偶々資産ガアルナラ
バ、ソレヲマア考ヘヨウデアリマ
スルガ、承繼スル、謂ハバアナタ
ノ御言葉ヲ以テスレバ、一種ノ淨
財ト云フ形デ承繼スルト云フコト
ニナルノデアリマス、サウ云フ風
ニ唯資産ヲ有効ニ使フト云フコト
デアツテ、何モ此ノ間ニ別ニ
色々ナ眼ヲ以テ見レバ、或ハサウ
云フ噂モ飛ブカモ知レマセヌガ、
少クトモ私トシテハスラツト考ヘ

テ居ルノデアリマス、性格的ニ非常ニ違ツタモノデアアル、併シソコニ從來アツタ日本林業會ノ資産、財産ガアルナラバ、ソレヲ林業會ニ引繼ガシテ、サウシテ林業會ガ直グ仕事モ出來、何モ出來ルヤウニシテ行ツタ方方寧ロ宜イノデヤナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、此ノ日本林業會ヲ、本當ニ斯ウ云フ正大ナ性質ノモノトラシメルト云フコトハ、日本林業會ヲ構成サレル人達ノ意思又ハ努力ニ依ルコトナノデアリマシテ、私ハ日本業會ヲ構成サレル森林組合系統ノ方、或ハ林産物系統ノ方ガ、ヤハリ民主的ニ今度ハ働イテ、實際ニ林業會ガ出來ルコトヲ望ンデ居ルノデアリマス、ドウカ左様御考ヘヲ御願ヒ致シタイノデアリマス、是ハ私共性質カモ知レマセヌガ、極メテアツサリト此ノ點ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○森委員長 本日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、次會ハ明二十四日午前十時ヨリ開會致シタイト思ヒマス、デハ是デ散會致シマス

午前十一時五十八分散會

昭和二十二年十月十九日印刷

昭和二十二年十月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局